

災害文化遺産

日本の禹王遺跡と治水神・禹王信仰展

期間

2018年3月16日(金)～5月16日(水)

開館9:30～17:00 (土・日・祝日は休館) 入場無料

場所

立命館大学 歴史都市防災研究所

1階 展示ルーム

中国で伝説的治水英雄や聖人君主として尊敬されてきた禹王が治水神として日本に輸入され、水害常襲地や災害被災地の人々に深く信仰されてきた。また、近代治水や土地開発事業でも禹王の事績が頻繁に利用・宣伝されている。現在では日本人から忘れ去られた禹王遺跡とその治水神信仰の実態、災害文化遺産としての意義を東アジア地域との比較を通じて総合的に展示する。

対象地域

京都・淀川・濃尾平野

酒匂川・中国・台湾 ほか

主な展示品

○福澤神社文命幟旗

○萩市出土禹丸瓦

○禹王画掛軸

○禹王木像 ほか



禹王木像 (岐阜県海津市歴史民俗資料館蔵)

会場アクセス

立命館大学 歴史都市防災研究所

〒603-8341 京都市北区小松原北町58番地

TEL: 075-467-8801 FAX: 075-467-8825

